

# インタビュー

シリーズ第8弾

## 町制施行 100周年記念特集

宇美町の歴史を見つめてこられた方々に  
スポットを当てることにしました。

### 舞踊でつなぐ地域の絆 宇美町文化協会会長 世利岩夫さん(82歳)



世利岩夫さんが舞踊を始めるきっかけともなった、宇美小学校の母の会演芸会は、図書館に本を寄贈するためのチャリティ演芸会でした。

そのころから、舞踊は観る人を喜ばせるだけでなく、「地域をつなぐ絆」の役割も果たしていくのだと感じておられました。

以後高校時代そして青年団時代も舞踊を続けられ、全国青年大会にも福岡県代表として出場され、演劇大会で優秀賞、文部大臣賞を受賞されました。

忘れられないのは、全国植樹祭で天皇陛下(現上皇)が来福された際に、ホテルニューオータニで行われた前夜祭で「黒田節」を披露したときのことです。天皇陛下の前で披露する「黒田節」では、槍を使うのですが、槍をもってホテルに入ると私服警官に取り囲まれ、槍の持ち込みで厳重に注意を受けたそうです。

宇美町には古くから伝わる「宇美町小唄」があります。お母さまから受け継がれた歌詞をCDに吹き込み、振り付けも考案され、宇美八幡宮放生会の舞台でも披露されています。町制施行100周年を機に、「100年音頭」と合わせて、普及活動にも取り組まれています。

宇美町文化協会第4代会長の世利岩夫さんは、日本舞踊の花柳流師範【花柳柏之輔】です。

日本舞踊の道に入ったきっかけは、小学5年生の時に宇美小学校の学芸会で舞踊を披露し「とっても上手だったね」とほめられたことです。

舞踊はみんなを笑顔にし地域をつないでいく。現在会員数が減少傾向の文化協会ですが、町制施行100周年を機に、増加につなげたいと抱負を語られました。



宇美小学校の学芸会や母の会演芸会は、子安座(現宇美八幡宮保育園)で行われていました。(世利さんは中央右)子安座では全国座長大会等も開催されるほどの九州内でも優良な劇場で、もし現在も残っていたら観光名所になっていたかもしれません。



博多座では「藤娘」をはじめ何度も舞を披露されています。日本舞踊は姿勢も良くなり、心身の健康保持にはもってこいです。五感をフルに使うので認知症の予防にも大変効果的です。

## 議会からのお知らせ

### 議会を傍聴しませんか！

12月議会では、20名の方が傍聴に来られました。

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)に定例議会が開かれます。役場本館3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次回の定例議会は、3月3日に開会予定です。

※ 詳しくは宇美町議会事務局(TEL092-934-2248)までお問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会事務局のメールアドレスです。gikai@town.umi.lg.jp

#### 【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

#### 【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫

副委員長 平野 龍彦

委員 入江 政行

委員 安川 繁典

委員 南里 正秀

新委員 飛賀 貴夫

#### Gikaiboutyou Meter

#### 議会傍聴メーター

2018年3月議会から  
議会傍聴に来られた  
人数です。

282